

坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい

# 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年2月2日  
第34号 文責 鈴木 博貴

## 『為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』

【お話朝会より】新しい年(令和6年)を迎えるとともに、3学期が始まって1か月が過ぎました。南っ子の皆さんは、「まとめの3学期」を、そして、次の年度(二進学・進級)に向けての「準備の0学期」をしっかりと心に刻み、新年の決意や3学期の目標を決めて頑張っていることと思います。校長先生も、それぞれの教室を訪問しながら、皆さんが授業に集中して頑張っている姿を見るとともに、皆さん一人一人の素晴らしい目標を読ませてもらっていました。少し紹介します。【児童の3学期の目標(「生活面」「学習面」「健康・体力面)】の紹介「1日勉強を70分以上やる」「さろんノートを1週間に4ページやる」「誰にでも自分から挨拶をする」「友だちが困っていたら相談にのる」「業間休みには必ず外に出て体を動かす」「早寝早起きを休みの日にも続ける」。いかがですか。ただ「○○を頑張る」もよいのですが、目標の中に具体的な数や時間などが入っていると、実行しやすいです。1学期のお話朝会で、大谷 翔平 選手のお話を通して、「目標をもつことの大切さ」について、皆さんに考えてもらいました。「なぜ目標を立てるのか」「目標を立てることは、なぜ大切なのか」。南っ子の皆さんからは、「自分をもっと高め、成長したいから」「目標を立てることで、よりよい生活を送りたいから」などの答えが返ってきました。自分は、「こんな人になりたい」「自分をもっと高めたい」という思いは誰もが持っています。そして、「その先にあるのは何ですか」。それは「自分の夢」です。「将来、こんな人になりたい」「人は夢があると、目標に向かって頑張れます」。しかし、人間とは弱いもので、「三日坊主」という言葉があるように、目標としていたことが続かなかったり、「どうせ自分には無理だから」と諦めたりしてしまうことはありませんか。実を言うと、校長先生も子供の頃は、よく「自分にはどうせできやしない」とか、「どうせやっても無駄だ」と、やる前から諦めてしまうことがありました。でも、そこには「やっぱりあの時にやっておけばよかった」と「後悔」の2文字しか残りませんでした。そして、いつの頃からか「やるか、やらないか迷ったら、やる」と自分に言い聞かせるようになりました。



為せば成る  
為さねば成らぬ  
何事も  
成らぬは人の  
為さぬなりけり

上杉鷹山

人が生きていく上で無駄なことなどありません。たとえ失敗しても、それは必ず経験となって生きています。やる前から「どうせ自分には無理」と勝手に自分の限界を決め込んで、挑戦しないのはもったいないです。皆さんは、たくさんの可能性をもっています。是非、自分を信じて「後悔」しないような生き方をしてほしいです。

最後に、皆さんに有名な言葉を紹介합니다。『為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり』。江戸時代の中頃の米沢藩(今の山形県)のお殿様で、貧しい国を立て直して豊かにしたことで名君と言われた上杉 鷹山という人の言葉です。「やればできる。やらなければできない。どんなことでも、できないのは人がやらないからだ」という意味です。やる前から、どうせ自分には無理だからと自分の限界を勝手に決めないでください。「先ずは、やってみる」。たとえ失敗しても、それは皆さんの貴重な経験として次につながります。「為せば成る!(やればできる!)」という強い気持ちをもって、これからも様々なことにどんどん挑戦していきましょう。

さあ、もうすぐ春の訪れ(立春)を告げる「節分」です。自分の心の中の「どうせ自分なんかできないや」という「あきらめ鬼」を追い出してみませんか?それでは一緒に「鬼は外!」。今日も、お話をしっかり聴いてくれて有難う。

【大谷選手の目標達成シート】 大谷選手は、夢の実現のために8つの柱からなる具体的な目標を立てました。その中には、野球の技術向上だけでなく、「運」「人間性」の項目もあり、「おもいやり」「感謝」「礼儀」「あいさつ」「ゴミ拾い」「本を読む」「部屋の掃除」「道具を大切に扱う」「応援される人間になる」「愛される人間になる」など、「どんな人間になりたいか」についても、しっかりと目標を挙げていました。とても参考になることがありますね。(「凡事徹底」)

感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に扱う	運	審判さんへの態度
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

# 6年生『小学校生活最後の社会科見学！』

## 『国会議事堂・国立科学博物館』1月26日(金)

### 【広げよう 興味、深めよう 知識】

「○施設見学を通し、国の政治の仕組みや自然、環境などについて学ぶ。○公共のルールやマナーを守り、望ましい生活態度を身に付ける。」を目的に、めあて『協力して楽しく学び、思い出に残る社会科見学にしよう』を掲げ、6年生が小学校生活最後の社会科見学に行ってきました。

【国会議事堂】国会議事堂では、厳かな雰囲気を感じながら昭和11年に完成した建物を見学しました。郵便ポストやドアノブやステンドグラス以外は国産の物を使用して建設されたことや、議会政治の発展に貢献した伊藤博文・板垣退助・大隈重信の銅像が三方に立っている中央広間は、通常国会の開会と重なってしまい見学することはできませんでしたが、本会議が開かれる衆議院本会議場を真剣な眼差しで見学しました。いつもニュースで見ている場所を実際に見ることができ感激した様子でした。

【国立科学博物館】国立科学博物館では、地球館(「地球生命史と人類」と日本館(「日本列島の自然と私たち」)を班の行動計画に従って協力して行動しました。科学を体験している子、恐竜の骨の展示を見学して、地球環境の変動の中で生命が誕生と絶滅を繰り返しながら進化してきた道のりに驚きを感じている子など、自ら進んで学習する姿が見られました。バスの中では、協力してバスレクを楽しんでいました。小学校最後の社会科見学の楽しい思い出を作り、携わってくださった方々に感謝の気持ちを表し、中学校に向けてしっかりと締めくくろうという思いを強くしていました。一人一人が自信をもって卒業できるよう全体で最後まで支援して参りたいと思います。



# 平和への祈りをこめて『被爆樹木二世アオギリを植樹』

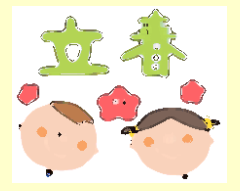
この度、坂戸市より『広島市の被爆樹木二世のアオギリの苗』が贈られ、環境美化委員会の児童たちが坂戸市役所の職員の方々と一緒に植樹を行いました。このアオギリは、1945年に広島に投下された原子爆弾による惨禍に遭いながらも、焼け焦げた幹から再び芽吹き、人々に生きる勇気と希望を与え、核兵器廃絶と世界恒久平和を訴えるシンボルとなったものです。大切に育て、『平和を愛する心』や『命を大切にする心』を育ててまいります。



# 2月(如月)の主な行事予定

## 【2月の生活目標】じょうぶな体をつくろう

- 1日(木) クラブ
- 2日(金) すこやか相談日
- 4日(日) PTA資源回収「南小の日」
- 5日(月) 3～6年 6時間授業
- 8日(木) 令和6年度埼玉県学力・学習状況調査に係る CBT事前調査(3～6年), 委員会
- 9日(金) Jアラート訓練
- 13日(火) 児童朝会(クラブ紹介), 小中連絡会
- 14日(水) 集金日, なかよしタイム  
スクールカウンセラー来校
- 15日(木) クラブ(3年見学)
- 16日(金) 長なわ記録会
- 19日(月) 家庭学習チャレンジ週間(～23日)
- 20日(火) 授業参観・懇談会(2・4・6年)  
全学年 5時間, 学校運営協議会
- 21日(水) 授業参観・懇談会(1・3・5年・くすのき・さくら)  
全学年 5時間
- 22日(木) クラブ
- 27日(火) 音楽朝会
- 28日(水) なかよしタイム
- 29日(木) お話朝会, クラブ(最終)



※ 詳細は、学年だより等でご確認ください。

## 【保護者の皆様へ】長なわ記録会の参観(ご案内)

今年度、「長なわ記録会」も保護者の皆様に公開いたします。子供たちが、クラスの仲間たちと協力し、体力向上のために取り組んできた成果を是非ご覧ください。

期日：2月16日(金) 業間休み 10:25～10:45

## 【校長室より】『子供たちの将来を見据えて』

「6年間の思い出」や「将来の夢」。6年生の卒業文集を最終校正として全て読ませてもらった。卒業していく彼らの姿を思い浮かべると非常に感慨深い。／今年『ドラえもん』連載開始55周年。これまでの卒業文集クラスページに、アンケートでよく使われた『自分も欲しいドラえもんの道具』。／ある新聞のコラム。正しい道を教えてくれる道具が欲しい。のび太の求めに、ドラえもんが取り出したのは『コースチェッカー』。分かれ道で使うと、それぞれの未来が最大15分間予想できる。でも、右も左も災難に遭うという。頭を抱えるのび太をドラえもんはこう叱る。「障害があったら乗り越えればいい！道を選ぶということは、必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶことじゃないんだぞ！」今後の日本の在り方についてのコラムだったが、子育てや教育と重ね合わせた。／小学生の頃、「自分にもドラえもんがいてくれたら」と本気で考えたことがあった。自分の将来を見てみたい。どんな仕事に就き、どんな生活を送っているのか。歳を重ねた今、目の前の子供たちの将来に思いを馳せる。／『『幸せな子』を育てるのではなく、どんな境遇におかれても『幸せになれる子』を育てたい』(美智子皇后・当時)。子育ては難しい。